

ようこそ 図書館へ

第13号

2012年11月
津市図書館



おもな内容

P2...マナーアップキャンペーン

P4...レファレンス事例集

P5...知ろう私たちの郷土

図書館マナーアップキャンペーン!



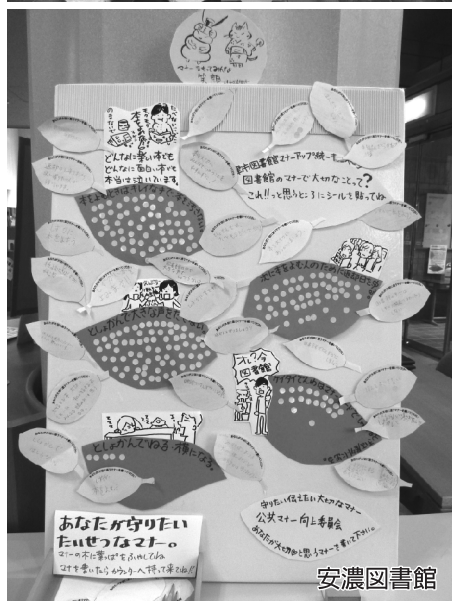
河芸図書館



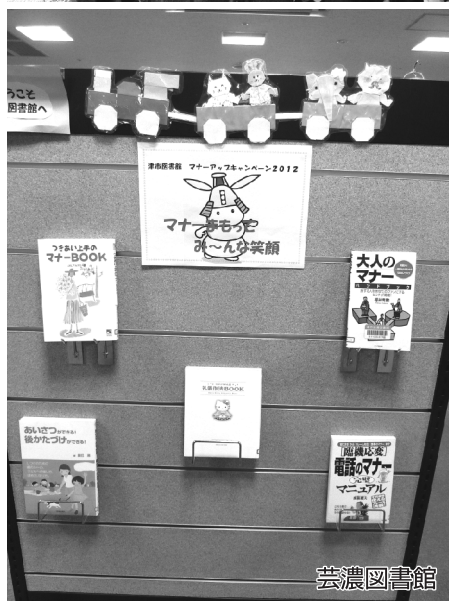
久居ふるさと文学館



津図書館



安濃図書館



芸濃図書館



きらめき図書館

津市図書館ホームページ

<http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp>



特集 マナーの木

マナーアップキャンペーン実施しました！ 平成24年7月27日～8月29日

マナーもってみ みんな笑顔

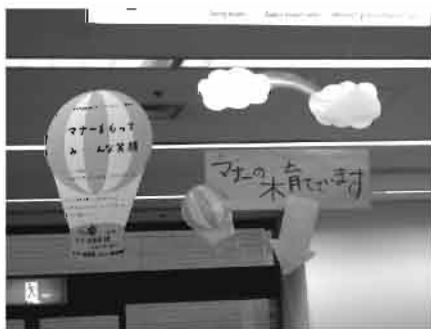
津市図書館（9館2室）では、図書館や公共の場所など、さまざまな場面におけるマナーについて、皆さんと一緒に考えたいと、全館一斉にマナー向上キャンペーンを開催しました。全館で1949名の方々の参加がありました。ありがとうございました。各図書館の取組みを紹介します。

いろいろなマナーについてのひとこと紹介

- ・静かに本を読む ・返却日を守る
- ・貸出期間を守ります ・走りません
- ・カウンターでは順番を守ります
- ・みんなが心地よいマナーを考えます
- ・携帯はマナーモードにします など

津図書館

入ってすぐのところにマナーの木を設置し、気球船をかたどったマナー参加の呼びかけポスターも飾りました。「あの木は何だろう？」と言う声がかえってくるかのように、来館された皆さんがマナーの木へ集まっていただきました。たくさんの方に館内のマナーに関係するたくさんのコメントを書いた葉や花を吊り下げて、マナーの木を育てていただけました。夏休み期間中だったこともあり、親子で図書館の利用について考えていただけるよい機会になったと思います。



久居ふるさと文学館

玄関入ってすぐのところにマナーの木と汚破損本の見本を設置しました。クリスマスツリーの木を利用し、ポップでマナーの木を演出しました。

親子で話し合いながらハートへ記入し、マナーの木に吊るしていただきました。1週間も経たないうちに、ハートの花がたくさん咲きました。最初スリムだった木も、どんどん成長し、満開になりました。また、職員が考えたマナーアップに関

する言葉(39種類)をしおりにして、貸出時に配布しました。本の返却時にカウンターで、利用者からの延滞のお詫びや、修理個所の指摘などの言葉かけが確実に増え、マナーについて考える良い機会になったのではないのでしょうか。



ポルタひさいふれあい図書室

図書室中央部の壁面にマナーの木を設置しました。小学生の女の子を中心に、予想していた数より多くの方に参加していただきました。子どもたちが書いてくれたハートのことばを、大人の方が立ち止まって読まれている姿も見られたので、幅広い年齢層のマナーアップ向上につながることを期待しています。



河芸図書館

マナーの木は、1m60cmの高さで、立体にし、木の枝には猿をぶらさげたり鳥をとまらせたりし、周りにはマナーを書いたハートを持たせたくま、うさぎ、りすを置き、小さなお子様にも参加してもらえるようなかわいい木にしました。折り紙をハート型に切り抜き、裏に両面テープを貼ったものを用意しました。そこにそれぞれのマナーを記入し、そのハートをマナーの木に貼っていただきました。幼児から大人の方まで御参加いただき、かわいいハートの花がたくさん咲き、みなさまに大好評でした。これをきっかけに来館される方に図書館のマナーについて考えていただければと思います。



芸濃図書館

「走らないでね!」「はい」と言いながら走り去っていく子ども。「人にぶつかる危険だからね」「つまずくと怪我しちゃうよ」など根気よく声かけをしていくとわかってくれるようになります。子どもは騒ぐのが当たり前と逆に苦情を言われることもありましたが、きちんとマナーを守ってもらえる姿を見ると、昔ながらの「地域の子どもは地域の大人が守り育てていく」ということが実感できて嬉しくなります。図書館は本を借りるところ・・・だけではなく子どもたちが社会のルールを覚え育っていく場所でもあって欲しいと感じました。



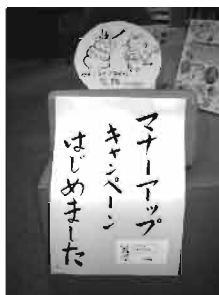
美里図書館

入口付近にクリスマスツリーの木を利用して、マナーの木を設置しました。職員手作りのマナーの内容を書いたハートや自由に記入できるハートは、紙ひもをつけ木に吊るしやすいように工夫しました。小学生は自分で考え記入する子が多く、楽しく参加しているようでした。また、破損本や落書きのある本を展示したので、親子でマナーについて会話も弾み、マナー意識が高まったのではないのでしょうか。



安濃図書館

来館者に声かけしやすいように、カウンターのすぐ前にボードを立てました。葉っぱの形の紙にいくつかのマナーを記入しておき、「私もこのマナーが大事」と思うところにシールを貼ってもらうようにしました。また、自分で考えたマナーを記入してもらった葉っぱも準備しておきました。「マナーって何?」という小さい子どもとお母さんのやりとりから始まり、「図書館の中で何が大切かなあ」と、親子の会話が始まりました。このマナーが、社会生活のマナーへと広がっていくとうれしいです。



きらめき図書館

ブラウジングコーナーの窓際にマナーの木と関連する資料を展示しました。香良洲町特産の梨の木をモチーフに果実と葉をデザインし、利用者の方に図書館での約束を記入してもらいました。幼稚

園児や児童が一生懸命考えて書いてくれた梨の木は2~3日でたわわに実りました。たくさんの利用者の方が窓際の梨の木に関心を寄せ、眺めていました。また、返却のしおりにマナーUPの標語を印刷したり、標語のうちわを作成してブラウジングに置いたりして利用者の方の目に留まる機会を設けたので、図書館利用の時のマナー啓発につながったと思います。



一志図書館



入口を入ってすぐに展示したマナーの木。小さな場所で少し気づいてもらいにくかったのですが、それでもたくさんの人がマナーの気持ちを貼り付けてくれました。「館内では走らない」「返す日を守る」みんなが気持ちよく利用するための、大切なマナー。館内に設置したキャッチコピー入りのうちわを使いながら、改めて考えてくださった方もみえるのではないのでしょうか。

うぐいす図書館

館名にちなんでうぐいすの形をした紙と花の形をした紙に、マナーについて記入してもらい、ボードに貼ったマナーの木に貼りつけてもらいました。たくさんの子どもたちが、「返却日を守る」とか「静かにする」とか図書館でのマナーについて考えてくれました。小さい子どもから大人まで誰もが使える図書館、みんなが気持ちよく利用するために、マナーは守りたいものですね。



美杉図書室

美杉図書室は、入ってすぐの壁面に大きなマナーの木を飾り、来室された方に一目で気づいていただけるようにしました。狭いスペースの中で、図書室内でもマナーについて考えていただけたように思います。また、市内の他の図書館の利用者の方と一緒にマナーについて考え、一体感が持ってもらえたかと思っています。



レファレンス事例集



Q 字のない絵本を探しています。

A 「ふしぎなえ」(安野光雄作 福音館書店)
「ぞうのぼたん」(うえののりこ作 富山房)
「なみ」(スージー・リー作 講談社)
「えんにち」(五十嵐豊子え 福音館書店)
「おみせ」(五十嵐豊子え 福音館書店)
「やこうれっしゃ」(西村繁男作 福音館書店)
「旅の絵本」(安野光雄著 福音館書店)
「アンジュール」(ガブリエル・バッサン作 ブックローン出版)
などがあります。

Q とことめの里一志の「とことめ」の意味は何が。

A 一志町時代に発行していた「広報いちし」平成9年2月号に名称決定の記事があり、由来が書かれています。名称は公募されたもので、万葉集の中の、一志町内の地について歌われたものに「河上の ゆつ磐村に草むさず 常にもがもな 常處女(とこおとめ)にて」という歌があり、ここから「とことめの里」という名称を考えられたそうです。



Q 戦争についてガガれた絵本を探しています。

A 「長崎平和絵本シリーズ」(汐文社)
「かわいそうなぞう」(つちやゆきお文 金の星社)
「ちいちゃんのかげおくり」(あまんきみこ作 あかね書房)
「よしがもえた」(たかとう匡子作 新日本出版社)
「ぼくのこえがきこえますか」(田島征三作 童心社)
「わたしのヒロシマ」(森本 順子作金の星社)
「なぜ戦争はよくないか」(アリス・ウォーカー文 偕成社)
せんそう(エリック・バトゥー ほるぷ出版)
などがあります。

Q 月見草の写真(色)が見たい。

A 『日本国語大辞典』(小学館2001)で「月見草 ツキミーグサ」を引いてみると、①植物 はぎ(萩)の異名②植物 おおまつよいぐさ(大待宵草)の俗称とあったため、『花図鑑野草』(草土出版1998)で「大待宵草 オオマツヨイグサ」を調べてみると、北アメリカ原産で明治の初期に渡来し、野生化したとあります。太宰治が、「富士山には月見草がよく似合う」と書いたのや、演歌に歌われた「宵待草のやるせなさ」はいずれもこのことだと考えられているとあります。黄色の花の写真が掲載されています。

図書館員からのひとこと ～小さなお客さま～

図書館には毎日たくさんの方が来館されます。でも、図書館へのお客さんは必ずしも人間ばかりではありません。

夏の朝、館内を掃除していると必ずと言っていいほど、ダンゴムシを見つけます。どこから入ってくるのか、もちろん何を目的に入ってくるのかなんてわかりません。でも、そのままにしておくと、来館された人間のお客さんに踏まれてしまうことは十分予想されます。ですから、ダンゴムシを突っついて丸くなったところをやさしくつまんで強制的に出て行ってもらうことになります。「もう来ないでね」と言って図書館前の花壇に放すのですが・・・翌朝も必ずダンゴムシはやってきています。

朝の小さなお客さまは、ダンゴムシだけではなくありません。コオロギ、トンボ、カエル、・・・ヤモリがいたこともありました。こういったお客さまはなんとか捕まえて、外に出て行ってもらいます。いろいろ大変ですが、のどかさを感じられてほっとするひと時でもあります。

風に少し冷たさを感じる頃、いつもの朝の仕事がなくなっていることに気がきます。ダンゴムシなどを捕まえて外に放すという作業は少し面倒ではありますが、そんな仕事をしなくてもよくなったとき、図書館前の花壇に向かって話しかけます。「また来年もおいで・・・。」

知ろう私たちの郷土

みもすそがわうたあわせ

『御裳濯川歌合』と『宮川歌合』

川上裕子

なげけとて月やはものをおもはする

かこちかほなるわかなみたかな

(『御裳濯川歌合』)

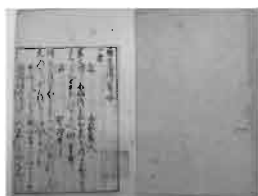
『千載和歌集』や「百人一首」にも採られている西行の和歌である。この和歌を含めて、西行の詠んだ歌を集めた作品として『御裳濯川歌合』と『宮川歌合』がある。この二つの作品は、西行が今までに詠んだ歌を「歌合」（何人かの歌人が左右に分かれ、それぞれが一首ずつ和歌を詠んで一取組として判定役がその勝敗を付けるという遊戯）の形式を模して西行の自選によってまとめられた歌合である。

西行(元永元(1118)～文治五(1189)年)は平安時代後期に活躍した歌人で僧侶である。本名は佐藤義清のりきよといい鳥羽院に北面の武士として仕えていたが、出家して西行上人と名乗った。出家後は東北や四国を旅する一方、京都や高野・伊勢の二見に住んだ。この内、西行が伊勢に住んだのは治承四(1180)～文治二(1186)年の約七年間で、その後は陸奥むつを旅し、文治三(1187)年に京都の嵯峨さかに居を構えた。その時に伊勢神宮に奉納することを目的として作られたのが『御裳濯川歌合』と『宮川歌合』である。

現在、津図書館所蔵の特殊コレクションの一つである「橋本文庫」の中に、この二つの歌合を一冊にまとめて刊行されたものが所蔵されている。(請求番号 L91.1-21)(写真1～3)



(写真1)
『御裳濯川 宮川歌合』
表紙



(写真2)『御裳濯川歌合』



(写真3)『宮川歌合』

『御裳濯川歌合』とは、文治三～同五年の間に成立し、伊勢の内宮に奉納された歌合である。花や月・四季・恋・祝いなどを詠んだ和歌の全36番(72首)+2首から成り、藤原俊成が判定を出している。題の「御裳濯川」とは「五十鈴川」の別名で、倭姫命やまとひめのみことが裳裾もすそ(衣服の裾)を濯すすいだことに由来するという。この川は内宮を象徴する川とされている。この中で西行は自分の和歌を架空の人物(山家客人と野径亭主)の歌として出している。

一方の『宮川歌合』は文治五年に成立し、俊成の子の藤原定家が判定を出している。題の「宮川」は外宮を象徴する川とされ、この歌合は外宮に奉納された。『御裳濯川歌合』と同様に、西行は自身の和歌を架空の人物(玉津嶋海人と三輪山老翁)の和歌として出しており、花や月・恋などを詠んだ和歌の全36番(72首)+2首から成る。

この二つの歌合は、伊勢神宮への奉納を意図して作られて奉納されたことから、「神は和歌を賞美する」という考えから行われた「法楽(奉納)和歌」の典型とされ、後のものに影響を与えたとも言われている。また、西行にとっても今まで詠んだ和歌の集大成となるものであった。

これらのことから考えると、この作品は和歌とともに西行の伊勢への思いや、和歌を詠んできた人生の一部が込められた貴重な資料と言えるだろう。

主な参考文献

『日本古典文学大辞典』第三巻・同第五巻(日本古典文学大辞典編集委員会編 岩波書店 昭和五十九年)、『和歌大辞典』(犬養廉[他]編 明治書院 昭和六十一年)、『二見町史』(二見町史編纂委員会 二見町役場 昭和六十三年)、『角川日本地名大辞典 24 三重県』(角川日本地名大辞典編纂委員会 竹内理三編 角川書店 昭和五十八年)、『千載和歌集』(新日本古典文学大系10 片野達郎・松野陽一校注 岩波書店 平成五年)



休館日・開館時間などのご案内

※下記の休館日のほかに特別整理期間（年1回、14日以内）や、臨時に休館することがあります。詳しくは、図書館カレンダー、津市図書館ホームページなどをご覧ください。

津市図書館HP <http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp>

携帯版HP http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp/cgi-bin/Sopcstop.sh?p_mode=3



携帯電話QRコード

館名	開館時間	休館日
津図書館 ☎229-3321 〒514-8611 西丸之内23-1 津リージョンプラザ内	平日 9:00~19:00 土・日曜日、祝・休日 9:00~17:00	火曜日 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日~1月4日）
ポルタひさいふれあい図書室 ☎254-0464 〒514-1118 久居新町3006 ポルタひさいふれあいセンター内	平日 10:00~21:00 土・日曜日、祝・休日 10:00~18:00	
芸濃図書館 ☎265-6004 〒514-2211 芸濃町棕本6824 芸濃総合文化センター内	9:00~17:00	
安濃図書館 ☎268-5822 〒514-2326 安濃町東観音寺418 サンヒルズ安濃内	10:00~18:00	
久居ふるさと文学館 ☎254-0011 〒514-1136 久居東鷹跡町2-3	平日 9:00~18:00 土・日曜日 9:00~17:00	火曜日 祝・休日（土・日曜日にあたる場合は開館） 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日~1月4日）
河芸図書館 ☎245-5300 〒510-0314 河芸町浜田782	10:00~18:00	
美里図書館 ☎279-8122 〒514-2113 美里町三郷51-3 美里文化センター内	9:00~17:00	
きらめき図書館 ☎292-4191 〒514-0314 香良洲町2167 サンデルタ香良洲内	9:00~17:00 （7・8月の平日は18:00まで）	
一志図書館 ☎295-0116 〒515-2521 一志町井関1792 とことめの里一志内	10:00~18:00 （7・8月の平日は19:00まで）	
うぐいす図書館 ☎262-5000 〒515-2602 白山町二本木1139-2 白山総合文化センター内	平日 10:00~19:00 土・日曜日 9:00~17:00	
美杉図書室 ☎272-8092 〒515-3421 美杉町八知5828-1 美杉総合開発センター内	9:00~16:30	

本の返却は期限内に

ようこそ図書館へ 第13号

発行日/平成24年11月1日 編集及び発行/津市教育委員会 津市津図書館
三重県津市西丸之内23番1号津リージョンプラザ内 ☎(059) 229-3321